

科目名 核医学概論

2単位 30時間 昼間部 1年 後期 担当講師 三本 拓也

教育目標

核医学検査の特徴、放射性医薬品の集積機序や臨床的意義を解説することで、様々な核医学検査に対応できるようにする。また核医学検査で使用される機器や画像処理の方法などについても解説する。

使用教材 改訂第2版 スリム・ベーシック 核医学 福士 政広 他 メジカルビュー社

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験

授業概要（前期）

- 1回 核医学検査の基礎（核医学画像の特徴、画像の種類など）
- 2回 放射性医薬品
- 3回 ガンマカメラおよびPETカメラ
- 4回 核医学イメージング1：集積機序など
- 5回 核医学イメージング2：画像再構成など
- 6回 脳神経領域
- 7回 循環器領域
- 8回 腫瘍領域1
- 9回 腫瘍領域2
- 10回 FDG-PET検査
- 11回 呼吸器領域
- 12回 内分泌系領域
- 13回 消化器領域
- 14回 泌尿器領域
- 15回 核医学内用療法

【実務経験】

診療放射線技師として国立病院（総合病院）に7年間勤務。医療機関での実務経験をもとに核医学概論について話をします。